

C 婦人の県外視察調査旅行

婦人の県外視察調査旅行は、本年度はじめてとりあげられた婦人教育振興のための施策であり、これに要する経費は、文部省、県教育委員会が負担し、県内の婦人教育に指導的役割を果している婦人を先進地域に派遣し、視察調査を行い、これを資として本県の婦人教育を盛んにしようとするものである。

初年度としては予想以上の効果を認められるが、問題点として反省されることもあるので、これが反省を生かして、さらに来年度はよりよいものとしたい。

a, 目的

この計画は国庫からの補助を得て実施する事業であって、本県婦人教育の振興を図るために、それぞれ地域において婦人教育のために地道な研さんを続けている婦人を先進地に派遣して、その地域における婦人に関する教育文化、産業、生活、団体活動等について実地視察、研究調査を行うとともに、その地域の婦人との交歓等を行うことにより、社会的視野をひろめ、郷土社会の婦人教育の振興に役立つ知識技能を修得し、もって本県婦人の向上ならびに明るい社会建設に寄与することを目的とする。

b, 期　　日　　10月20日～28日　9日間

c, 派遣地域　　静岡県、愛知県

d, 派遣人員　　10人

e, 参加者の資格

下記の要件を備えるもので、県教育委員会事務局出張所並びに市町村教育長から推せんをうけたもの。

- ① 婦人学級生、婦人団体員及びその他の婦人教育関係者（婦人）のうちで、将来地域において指導者として、視察調査による成果を積極的に発揮出来る能力を有する者と認められるもの。
- ② 地域社会及び地域婦人の信望厚く研究心の強い婦人で、人格、指導力のある婦人であること。
- ③ 視察調査内容とその他についての報告書を作成できる能力のあるもの。
- ④ 健康状態が良好なもので、特に胸部疾患、伝染性疾患のないもの。
- ⑤ 旅行に耐えうるもので、特に汽車、電車、バス等の利用に健康を害されないもの。
- ⑥ 旅行の参加に対して、家庭状況に支障のないもの。

f, 参加者の選考

県、教育委員会が、上記資格を備えるものについて選考決定する。

g, 参加者名簿

昭和35年度婦人教育県外視察（調査）参加者名簿

福　島　県

出張所名	氏　名	生年月日	役職（所属団体）名	住　所	研　究　主　題
伊 達	古宮 千代	M (52) 40. 9. 23	婦人教育指導員	伊達郡国見町大学 轟田字町尻 1の2	婦人団体の文化活動について
安 達	柳沼 登美	M (58) 35. 8. 1	二本松市教育委員 安達郡婦人団体連合 協議会長	二本松市根崎町 1の68	婦人会活動について
安 積	柳田 シメ	M (58) 35. 2. 19	県婦人団体連合会長	安積郡熱海町玉川 字切払57	婦人団体特に県連の運営及び活動状況
岩瀬	蓬田 ヨウ	M (54) 39. 1. 6	須賀川市教委 社教主事	須賀川市字三丁目 西15	地域における婦人教育の問題点 1.家庭生活を向上させるための 団体活動 2.婦人会活動の本質
西白河	鈴木アキノ	M (53) 40. 9. 26	白河市大町婦人会員 婦人教育指導員	白河市立石 166	婦人学級の実態
北会津	二瓶ナミエ	M (49) 44. 5. 7	護教婦人学級委員長	会津若松市栄町 695	婦人会、婦人学級の活動ならびに運営状況
耶 麻	鈴木ハツイ	M (48) 45. 6. 5	喜多方市婦人団体 連絡協議会長	喜多方市関柴町東 中明	婦人団体の活動について
両 沼	目黒 敏子	M (49) 44. 2. 11	婦人教育指導員 尾岐婦人学級委員長	大沼郡会津高田町 大字吉田	婦人団体の活動と婦人学級の運営
石 城	鈴木 きよ	T (46) 3. 4. 27	内郷市婦人会副会長 婦人教育指導員	内郷市綴町の内 68	婦人団体の活動について
相 馬	宍藤 コウ	M (59) 34. 1. 20	相馬市教育委員 県婦人団体連合会 常任理事	相馬市中村字北町 59	婦人団体と婦人学級の運営 新生活運動推進の状況